

Ⅲ 2 1 創造運動の実績

平成14年度に実施した2 1 創造運動の実績（複数可）

～2 1 創造運動の目標を達成するためどのような活動をしたか、また、活動の手法や効果、活動の取り組みの経緯（継続期間）、活動に係る経費（金額）とその財源、地域住民の評価等の点も含めてアピールしたいことがあれば各活動毎に記述してください～

◇活動名： 情報公開、積極的な施設解放

◇活動の内容

○ 情報公開～N T T回線、リモートセンシングを活用(H12)し、農業支援システムを開発、その中で各種農業情報を農水や農業関係者に提供している。具体的には水管理などの農作業あるいは、農業経営に欠かせない情報の提供、例えば気象情報、水利用情報など、米蛋白地図等のリモートセンシング技術を活用した農作業支援情報の提供などを行っている。また、安全で効率的な用水管理を実現する水利システムを導入(H14)しており、用水路の水位や緊急時の警報等を携帯電話・インターネットで公開(H15)している。

○ 積極的な施設の開放～水土里ネットの事務所を地域に開放しており町内会や企業が会議室を使用したり、保育園の野外イベントの開催に駐車場や車庫などを提供(H12)している。また、農業水利施設の開放(H11)も行っており丸山調整池はカヌーやパークゴルフなど市民の憩いの場となっている。

○ その他～総合学習の一環として改良区の職員自らが小学校に出向き改良区の仕事や役割について出前授業(H5)を行っている。また、JICAによる海外研修生の受入による国際協力やホームページを開設(H15)し地域のみならず広く水土里ネットの取り組みを知ってもらうなど北海道の水土里ネットの模範となるべく活動を進めている。（出前授業は地区内小学校5校の内、年に1～2校）

○ 地域住民や農家の評価もすこぶる良く、地域に密着した取り組みは今後もどんどん進めていく予定である。

Ⅳ 2 1 創造運動の取り組み体制

1 水土里ネット役員が2 1 創造運動に対する意識

■水土里ネット役員が意識が改革され、運動を積極的に推進している

□水土里ネット役員が徐々に変わり始めている

□まだ変わっていない

チェックした項目に対する具体的内容を記載： G I S、リモートセンシング等の先進技術にも理解があり、円滑に推進している

2 水土里ネット職員の2.1創造運動に対する意識

水土里ネット職員の意識が改革され、運動に積極的に取り組んでいる

水土里ネット職員の意識が徐々に変わり始めている

まだ変わっていない

チェックした項目に対する具体的内容を記載： 職員の意識も外部との交流（総合学習の協力、地域住民との交流等）により意識改革が起きている

3 2.1創造運動の担当部署について

2.1創造運動を実践していくため水土里ネット内に担当部署を設けている

→ 担当部局： _____（ _____人）

特に担当部署は設けていないが、組織として取り組んでいる

役員が単独で行っている → 運動の後継者の育成を行っている
特に後継者の育成を行っていない

その他： _____

4 2.1創造運動のリーダーがいる場合はその方の役職等を記載（複数人いる場合は全て記載）

リーダーの役職等： 総務課長 _____

5 2.1創造運動の水土里ネット組合員への浸透度

水土里ネット組合員に徐々に浸透している

まだ変わっていない

その他： _____

V 2.1創造運動の意義性

1 2.1創造運動に取り組むに当たって掲げた理念

～2.1創造運動を通し「水土里ネットがどうなっていくべきか」思いの丈を記述してください～

昨今の先行き不透明な農業環境下にあつて土地改良区は組合員のために何をなすべきか、又、地域農業更には地域社会の中でどうすべきかを考えると暗澹たるものがあるが、農業生産に水と土は欠くことが出来ないという至極当然のことを思い起こし、その両方に携わっているのが土地改良区業務である。この土地改良区の本来業務を農家経済向上に如何に結びつけていくか、又、地域社会でその存在を如何に認識していただくか、そんな視点から土地改良区の本来業務の延長線から外れない運動を行う。

○運動を開始した時期： 出張講義とGISは平成5年から、リモートセンシングは平成12年から取り組んでいる。

2 この理念はどのレベルの会議等で決定されたか

- 水土里ネット総（代）会
 水土里ネット理事会
 水土里ネット内部

3 2.1 創造運動に対する地域住民等の評価（複数回答可）

- 地域住民からは、水土里ネットの存在・役割が理解され上々の評価を得ている
 2.1 創造運動により近隣の地域へ波及的な効果もあった
（具体的に： _____）
 まだ変わっていない
 その他： _____

4 平成14年度の各種活動への参加者 ～Ⅲの「活動の実績」について記載～

- 地域住民や児童、生徒
 地域住民のほか市町村外からの参加者も多数
 イベントは他団体（ _____ ）との共催なのでよく分からない
 特に調べていない
 その他： _____

5 持続可能な2.1 創造運動への取り組み姿勢（無理のない着実な取り組み）（複数回答可）

- 財政状況
 自主財源 他の機関からの支援（補助事業等）
 予算書に活動費の項目立てをしている。（理事会の議題に取り上げている）
 その他： _____
- 関係機関・関係者等との調整（合意形成）
 関係機関もしくは関係者等と十分な調整を経たうえで取り組みを開始した
 先ず水土里ネットで取り組みをはじめ、その後関係機関もしくは関係者との調整を行った
 水土里ネット独自で取り組み、関係機関・関係者等との調整は特に行っていない。
 その他： _____

6 農業振興を含めた本来業務にかかる活動に取り組んでいますか。（複数回答可）

- はい → 土地利用調整 水利用調整 情報収集及び提供 直売所等への関与
 営農支援 { 実証栽培 土づくり 環境保全型農業の推進
 営農指導 その他： _____ }
 その他： _____

7 事業や運動などで、他に先駆けて取り組んだものはありますか。

■はい（具体的な内容を記載）

□いいえ

先駆的な取り組みの具体的な内容：GIS、携帯電話を駆使した土地利用調整や水利用調整をはじめとした営農への応用を推進している。

8 地域の歴史（先人達の偉業等）や文化などを伝えるような取り組みをしていますか。

又、水土里ネットを含め他に歴史や文化を伝える人材はいますか。

（取り組まれている場合は次の内容について記載）

1) 取り組み内容

平成15年度よりホームページで「たかす農業絵本」を公開、北海道開拓の歴史を伝えている。

2) 人材活用（どのような人材を活用しているか記述）

ホームページで連載する。

VI 2.1 創造運動の継続性・発展性

1 IIIの「2.1 創造運動の実績」で述べた活動について、活動を始めた時期及び今後の取組予定

・活動名：情報公開、積極的な施設開放

・取組開始時期及び今後の予定：総合学習の協力（H5）・GIS（H5）・リモートセンシング（H1.2）・施設開放（H1.1）

※複数ある場合は、それぞれ記載

2 2.1 創造運動の取り組みにあたっての工夫

～2.1 創造運動（活動）を更に発展・拡充するために取り組んだ内容について記載～

GISの活用のみにとどまらず、携帯電話を利用した水管理を実現（安全で効率的な水管理を実現する水利システムを導入しており、用水路の水位や緊急時の警報等を携帯電話・インターネットで公開している。）

3 目標及び目標達成に向けた取り組み ～具体的に、又計画がきまっていれば年次計画を～

この運動は短期間で終わることなく継続的に続けるべきものなので土地改良区の本来業務（日常業務）の延長線から外れることなく運動し、土地改良区の存在意識や業務内容を広く理解してもらわなければならない。

以上のように毎日の業務の中で目標達成に向けての意識を忘れなければ、自ずと結果はついてくる。

○この目標はどのレベルの会議等で決定されたか

水土里ネット総（代）会

水土里ネット理事会

水土里ネット内部

その他：

4 2 1 創造運動を実践するための水土里ネットを核とした活動母体がある場合

・組織名（団体名）：

・主な活動内容：

5 2 1 創造運動の実践により水土里ネットにもたらされたもの（複数回答可）

一般住民からの問い合わせ等が増えた

水土里ネットへの就職希望者（問い合わせ）が増えた

自治会等地域の各種会議・会合等の案内が増えた

行政機関から各種委員会等の委員の依頼、会議の案内が増えた

地域住民の水路の草刈り等の作業参加者が増えてきた

組合員の賦役の参加率が向上した

以前と変わっていない

その他：

VII 2 1 創造運動の連携性

1 関係機関との連携（（ ）内の1から8に○をつけてください。複数回答可）

関係機関名	連携の状況	連携の内容
・町内会等自治会	(1 ② 3 4)	(⑤ 6 7 8) ←
・NPO	(1 2 3 ④)	(5 6 7 8)
・教育機関	(1 ② 3 4)	(⑤ 6 7 8)
・マスコミ	(1 2 3 ④)	(5 6 7 8)
・農協	(1 ② 3 4)	(⑤ 6 7 8)
・市町村	(1 ② 3 4)	(⑤ 6 7 8)
・都道府県水土里ネット	(① 2 3 4)	(⑤ ⑥ 7 8)
・都道府県	(1 ② 3 4)	(⑤ ⑥ 7 8)
・国	(1 ② 3 4)	(⑤ 6 7 8)
・その他（ ）	(1 2 3 4)	(5 6 7 8)

◇ 連携の状況

1. 積極的に連携できた
2. 一定の協力が得られた
3. 今回は連携出来なかったが
今後は可能性がある
4. 全くない

◇ 連携の内容

5. 共催、協賛、後援
6. 運動計画樹立の助言を得る
7. 人材派遣
8. 資金援助

2 2 1 創造運動がマスコミに取り上げられたことがありますか（新聞、TV、ラジオ等）

■ある（いつ：平成14年、 何に：テレビ、新聞 に取り上げられた。）

①マスコミに取り上げられるためにどんな努力をしましたか。

土地改良区からの情報発信は特にしていない。

②その結果マスコミとのパイプは出来ましたか。

特になし（随時依頼等を行っている。）

資料等提供したが取り上げられなかった

ない → 接触の方法がわからず働きかけが出来なかった

これといった働きかけはしていない

その他：

3 2 1 創造運動（各種活動）の情報提供方法（複数回答可）

■水土里ネットでホームページを開設している

都道府県水土里ネットのホームページに掲載している

■定期的に情報誌を作成している

■水土里ネット事務所等の掲示板に貼りだしている

特に情報発信はしていない

その他：

VIII その他特記事項

○最後に2 1 創造運動の推進に当たりご意見ご要望があれば記述してください。

この運動のために特別なことをするのではなく、土地改良区の日常業務の積み重ねが結果としてこの運動につながっているが、そのためには斬新的なアイデアと業務処理が必要であり、それ相応の財源も必要で、その観点からのソフト事業制度の創設を望む。

IX その他

○中央選考委員会で受賞候補の水土里ネット（都道府県水土里ネットを含む）自ら説明を希望する場合は、発表者の氏名等記載下さい。

発表者氏名 永山 敏行 所属・職名 総務部 総務課長

発表者氏名 石丸 修一 所属・職名 総務部 総務課長補佐